



2014/08/26

運河の街ともいえるブルージュ

中世がそのまま残る街

（ベルギー編④）

サビエル生誕五百年

巡礼の道

藤屋 侃士  
（下松市幸ヶ丘）

423

「水の都」とい  
えばベニスを連想  
するが、ガイドブ  
ックにはベルギー  
のブルージュも  
「水の都」と呼ば  
れているとある。  
市内に入ると運  
河が縦横に張り巡  
らされ、五十以上  
の橋が架かってい  
る。「ブルージュ」  
とは橋という意味  
だそうで、この街はベル  
ギー屈指の美しさを誇る。  
ブルージュは北海と水  
路で結ばれ、十二、三世  
紀には西ヨーロッパ第一  
の貿易港で、中世ヨーロ  
ッパの中心として栄えた。  
しかし十五世紀に入ると  
水路が沈泥のため浅くな  
り、商船の出入りができ  
なくなつて都市としての  
機能を喪失してしまふ。  
それが、結果として中世  
の景観を現在に残すこと  
になつたというから何が  
幸いするかわからない。  
ガイドブックには「中  
世のままで止まった天  
井のない博物館」とか「中  
世を閉じ込めた水の都」  
「中世が錠をかけられた  
ままの街」などと味わい  
深く表現されている。ふ  
と十数年前に訪れたドイ  
ツのハイデルベルクを思  
い出した。あの街も「ロ  
マンチック街道の宝石」  
と呼ばれ、中世の景観を  
現在に伝える。

なぜこれらの街は現在  
の人々の心をとらえ、安  
らぎを与えるのだろう  
か？ヨーロッパの国々は  
産業革命を経て急激に近  
代化され、機械化、合理  
化が進み、大切にすべき  
古き文明まで捨ててしま  
つた。そのことが中世の  
面影を残す街にノスタル  
ジアを抱かせ、人々を魅  
了するのだろう。

運河の写真は今回の旅  
で一番気に入っているも  
のだ。白黒なのでレンガ  
色のくすんだ感じが味わ  
えないが、一週間遅れで  
ホームページにはカラー  
で載せるので、街の雰囲気  
がもっと伝わると思う。  
フランスの文豪ヴィク  
トル・ユーゴ  
ーはブリュッ  
セルのグラン  
プラスを「世  
界で最も美し  
い広場」と言  
つたが、ブル  
ージュの中心  
のマルクト広  
場もそれに優  
るとも劣らな  
い。グランブ  
ラスより少し  
小振りではあ

ブルージュの市庁舎が一番古い(1420年完成)



2014/08/26

るが、それが中世をより  
身近なものに感じさせ、  
十五分ごとに流れる鐘楼  
のカリヨン（組鐘）の音  
が立体的に中世の魅力を  
伝えてくれる。  
ふと思う。中世のヨー  
ロッパの人々は神の領域  
で生活していたのだろう。  
しかし現在の私たちの生  
活は便利さ、豊かさを求  
めるあまり、自然を破壊  
し、神の領域を侵してい  
ないだろうか？：目の前  
を観光馬車がゆつくりと  
通り過ぎていった。

ギルドハウスの前を馬車が走る

ブルージュの中心  
のマルクト広  
場もそれに優  
るとも劣らな  
い。グランブ  
ラスより少し  
小振りではあ

ブルージュの中心  
のマルクト広  
場もそれに優  
るとも劣らな  
い。グランブ  
ラスより少し  
小振りではあ

ブルージュの中心  
のマルクト広  
場もそれに優  
るとも劣らな  
い。グランブ  
ラスより少し  
小振りではあ



2014/08/26